

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来 課	越川昌信	小林良弘
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
PTCA事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯学習を推進する		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
		○ ソフト事業	施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
PTCAフォーラムの開催		補助金の支給	有	○ 無
		委託	全部委託	一部委託
		○ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
町民	町民	PTA会員を対象に子育てフォーラムを開催する

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>										会計名	一般	会計		
細目名	社会教育推進事業				細目名					細目名				
予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業
	10	5	1	1										

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>									
事務事業・人員		単位	20年度 決算	21年度 実績(見込)	22 年度 計画	備 考 (全体事業費など)			
総 コ ス ト			932	1,042	939				
コスト の内訳	直接事業費	千円	100	220	215				
	所属内間接費		30	20	20				
	人件費		802	802	704				
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.11	0.11				
財源 内訳	国・県支出金			170	170				
	地方債								
	その他特定財源			50	45				
	一般財源		932	822	724				

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 見込	22年度 目標
1	PTCAフォーラムの開催	各PTA会員による	PTCAフォーラムの開催	回	1	1	1
2							
3							
4							
5							

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [PTCA事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度実績	21年度実績(見込)	22年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
観客	人	200	200	200	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは		高い		高くない	○	把握なし	
		緊急性は		高い	○	高くない			
		利用者・対象者数は		増加		減少	○	横ばい	
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない	○	ある		把握なし	
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○	ない		ある			
		国や県の事業(サービス)との重複は	○	ない		ある			
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○	ある			
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○	ある			
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		ない	○	ある		把握なし	
	連携の 可能性	他課で類似の事業は		ない	○	ある			
		他の事業と統合できる可能性は		ない	○	ある		あるが困難	
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は		ない	○	ある		あるが困難	
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○	ある		あるが困難	
	効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○	ある		
コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は				ない	○	ある			
サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は				ない	○	ある			
受益者負担を見直す余地は				ない	○	ある			
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○	ある		ない			
		前年より成果が上がって		いる		いない	○	横ばい	
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○	高い		高くない			
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	○	いる		いない		測定困難	
		事業の休・廃止による住民への影響は		大きい	○	大きくない			
市場化の 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○	委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある			○ 市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性			1.改善の余地はない				2.改善の余地がややある		
			○ 3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>PTCAフォーラムの開催

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 地域家庭教育事業との共同開催が考えられます。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 地域家庭教育で進めている親業講座と連携させ、家庭教育の充実に努める。									
所管評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しなが ら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 家庭教育の重要性を保護者にも十分理解してもらうためにもPTCAフォーラムの開催を通して啓発活動を充 実させたい。									
事業評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3.内容を見直しなが ら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了			
評価委員コメント									
参加者が少ないので、もっと広く参加を呼び掛ける必要がある。 フォーラムの内容についてもマンネリ化の傾向があるので、さらなる工夫を期待する。									